

發明雀之淫慾過他之禽類是因陽氣熾而陰氣溢也故能起人之陽道陰精而令男女有子然春夏秋者雀多淫而妄泄精精泄則陰陽動躁食之不宜人至冬三月者雀無慾而陰陽靜定氣不泄外此可食之時也今人常服驛馬丸雀附丸漫耽簾帷之樂而不騰陽氣外竭陰水內涸翻歸咎於無情之飛禽飛禽不幸無所逃罪嗟乎可憐爾○中略

卵氣味酸温無毒或取第一番者可用主治大抵與肉同

雄雀屎一名白丁香凡尿色白或青或淡黑以白者爲上今用立糞雀立而尿則尖挺向上下平直如丁

尙可氣味苦温微毒主治疝瘕積脹疔癩及目醫努肉癰疽瘡癤咽喉齒齲或中風口噤女人乳腫小兒驚癇

〔古事談三僧行〕仁海僧正ハ食鳥之人也房ニ有ケル僧ノ雀ヲエモイハズ取ケル也件雀ヲハラトアブリテ粥漬ノアハセニ用ケル也雖然有驗之人ニテ被坐ケリ大師之御影ニ不違云々

〔矢開之記〕一矢開には一ニ鹿二ニ雀と申義也

〔武家調味故實〕一くわい人の間にいませ給べき物 すゞめ

雀糞載

〔古事記雄略〕天皇坐長谷之百枝槻下爲豐樂之時○中略天皇歌曰毛々志紀能淤富美夜比登波宇豆良登理比禮登理加氣氏麻那婆志良袁由岐阿閉爾波須受米宇取須麻理韋氏那布母加母佐加美豆久良斯多加比加流比能美夜比登許登能加多理基登母許袁婆

〔源氏物語五若紫〕すゞめの子をいぬきがにがしつるふせごのうちにこめたりつるものをとていとくちをしと思へり

〔枕草子八〕うつくしきもの

すゞめの子のねずなきするにおどりぐるまたべになどつけてすへたればおやすゞめの虫などもてきてくゝむるもいとらうたし